

～キレイを目指し、純粋に働く人たち～

purera

びゅあら
第3号



ノラニンジン^{ノラニンジン}は、夏にレースのような白い小花を集合させて咲かせる一年草で、ヨーロッパ原産の植物だよ。

クリーン&クリーン 札幌工場

現在「株式会社クリーン&クリーン」は、本社の東北工場、北海道の札幌工場、埼玉県の春日部工場の3カ所で稼働しています。札幌工場は、「株式会社クリーン&クリーン」の最初の支工場として、平成22年7月に操業を開始しました。札幌工場は、今年の7月で操業を開始してから2年の節目を迎えます。

札幌工場では現在、男性5名、女性1名の知的障害者6名を含む8名体制で操業しています。

冬季は毎日の積雪、悪天候に悩まされながらも、自然あふれる札幌工場で、従業員一同力を合わせ洗浄業務に励んでいます。



札幌工場の周辺に咲くノラニンジン(野良人参)の花

クリーン&クリーン 札幌工場2年間の道のり

札幌工場は平成22年7月に操業を開始してから、今年の7月で2年の節目を迎えます。

札幌工場では現在、男性5名、女性1名の知的障害者6名を含む8名体制で稼働しています。主な事業は、プラスチック製品と、買物カートの洗浄業務です。プラスチック製品は、スーパーの買い物カゴ、野菜などを入れるオリコン(折り畳みコンテナ)、フォークリフトで物を運ぶ際に使用するパレット、主に食品工場などで使用されているばんじゅうなどを扱っています。買物カートについては、お客様が安全に使えるよう、キャストを交換するなどのメンテナンスも行っています。

札幌工場が稼働し始めた当時は、依頼される洗浄品がまだ少ない状況でした。依頼が少ない分、従業員全員が手洗い作業を丁寧に行い、依頼された洗浄品を、心をこめて綺麗にしていました。

また当時は、従業員が作業になれておらず、不注意による転倒やヒヤリとするようなことが時々ありましたが、現在では小さなケガや事故などは全くなく、安全に稼働しています。

そして、現在では依頼される洗浄品も増え、従業員も洗浄作業に慣れてきました。また、全員の洗浄品

の手洗い作業が速くなり、現在では一日あたりの洗浄量も増えました。

従業員の高橋昭彦さんは、「素早く、手早く作業することは難しいです。ですが、この仕事の楽しい所は、覚えたことを自信を持って出来ることです」と話します。

現在札幌工場では、事業の新規開拓と、お客様へのさらなるサービス向上を目指し、誠心誠意取り組んでいます。

過酷な冬を乗り越えて

北海道にある札幌工場は、冬場になると大量の積雪に見舞われます。工場一帯が真っ白な雪に覆われてしまい、札幌工場の朝は除雪作業から始まります。

しかし、札幌工場の従業員の手に掛ければ怖いものなんてありません。従業員たちはとても仕事熱心で、積雪時期には自ら早めに出勤し、誰から指示をされるわけでもなく、全員で除雪作業をしてから業務に就いています。

また、札幌工場がこれまでの2年間で一番苦労したことが、洗浄機械や水道管が凍結してしまったことでした。

冬場、気温が低くなる札幌工場では、洗浄機械や水道管が凍結してしまうというトラブルがありました。その際にも、活躍したのは札幌工場の従業員たちでした。従



業員全員で洗浄機械や水道管にバーナーなどをかけ、凍ってしまった機械を融かす作業を行いました。洗浄機械や水道管が凍結した際には大変苦労しました。しかし、どんな時でも頼りになる従業員たちを、札幌工場の工場責任者・津田幸記さんは「毎朝、自ら率先して雪かきをしてから業務に就く彼らを素晴らしいと思っています。札幌工場の従業員の仕事ぶりを見ていると、ひたむきで一心不乱に働く姿には感心するものがあり、私どもも勉強になっております」と、とても誇らしく思っています。

